

人生100年時代を 見据えた「生涯学習」 支援に関する研究

～県立広島大学と三原市市民大学校（旧老人大学）
とのコラボレーションを目指して～

県立広島大学 保健福祉学部

理学療法学コース 金井 秀作・高宮 尚美

作業療法学コース 坂本 千晶



プレゼンの構成

- ◎ 背 景：三原市生涯活躍のまち
- ◎ 内 容：県大三原Cの強みと三原市民ニーズ
- ◎ 成 果：地域連携としての“学び”の発展
県大教養スクールから
⇒市民大学特別講座へ
- ◎ 結 語：継続への課題



三原市生涯活躍のまち推進事業2018から

◎社会変化に対応するため、人々は絶えず新しい知識や技術の習得を迫られている

I 三原市民の生涯学習ニーズを検証する

三原市内に居住する50歳から69歳の男女標本数2000名(有効回答率29.9%)

- ・「生きがい」と「健康状態」について
健康であると認識している人ほど生きがいを感じている傾向にあった。
- ・「現在の活躍」と「生きがい」について
生きがいを感じている人ほど活躍している傾向にあった。
- ・「現在の活躍」と「健康状態」について
健康であると認識している人ほど活躍している傾向にあった。
仕事をしている人は、していない人に比べ活躍している傾向にあった。
- ・「健康」だが「活躍」していない理由
「必要な情報が入らない」、「きっかけがない」、「仲間がいない」、
「希望する活動する場が身近にない」という意見が多かった。
- ・「今後の活躍の意向」と「生きがい」、「現在の活躍」について
生きがいを感じている人、現在活躍している人ほど今後の活躍に前向きであることが分かった。
- ・今後、学びたい内容について
「健康の維持・増進」が最多であった。

三原市生涯活躍のまち推進事業2018から

Ⅱ “実学”講座を企画・実施



県立広島大学
Liberal Arts Hub
Prefectural University of Hiroshima

スタート!

受講料 無料

夢がひろがる“どこでもドア”

県大教養スクール
「学びのトビラ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民の皆さんがさまざまな活動を通じて、
いつでも活躍できるまちをめざしています。
今回、県立広島大学と三原市とで連携し、市民の皆さんの活躍のきっかけとなる
最初の一歩を応援する講座を開催します。

講座1	講座2	講座3	講座4
充実	スポーツ	貢献	お金
11/17(土) 10:00-12:00	12/1(土) 10:00-12:00	12/8(土) 10:00-12:00	12/15(土) 10:00-12:00
オンラインセッション スタート講座	ゲームで健康	コミュニケーション への関心	安心してキャッシュ カード(金融編)

講座5	講座6	講座7
知識	おしゃれ	健康
1/12(土) 10:00-12:00	1/26(土) 10:00-12:00	2/2(土) 10:00-12:00
介護の事前知識	美容 ヘアアレンジ講座	これから のキャリアアップ

定員 50名
(申し込み先着順)
申込締切 11/14(水)
詳しくは裏面に
ご確認ください



三原市生涯活躍のまち推進事業2019から

Ⅲ “実学”講座（演習）を企画・実施



県立広島大学
Liberal Arts School
Prefectural University of Hiroshima

ステップ!

県大教養スクール
「学びのステップ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民のみなさんが学びの機会を通じて、
いつまでも活躍できるまちをめざしています。
このたび、県立広島大学と三原市との連携により、昨年実施した
「学びのステップ」の発展版として「学びのステップ」を開催します。

第1回 コミュニケーション 11/30(土) 10:00-12:00 グループを きこかけ隊!	第2回 声 12/7(土) 10:00-12:00 声の アレンジメント	第3回 脳卒中 12/21(土) 10:00-12:00 県立広島大学から 先生を学ぶ	受講料 全6回 3,000円 定員 30名 (申し込み定員) 申込締切 11/8(金) 詳しくは三原市 ご確認ください
第4回 お金 1/11(土) 10:00-12:00 安心しな セカンドライフ	第5回 やりがい 2/1(土) 10:00-12:00 文楽しな 生活を送る	第6回 街づくり 2/15(土) 10:00-12:00 高齢者や子ども 街づくりに関心をもつ	



三原市生涯活躍のまち推進事業2018ー19から

【“トビラ”と“ステップ”成果】

- ①全回にて授業評価（満足度）はかなり高いものとなった。
- ②継続を希望する声が多かった。
- ③当初想定では有料化と6講座連続受講が前提条件であったため、時間的に余裕がある70歳以上のリタイア世代が中心になると危惧されたが50代～60代で約7割を占める結果となった。



知識教養の向上を目的している受講生がほとんど。
業務研修のような目先の活用を主目的にしていない。

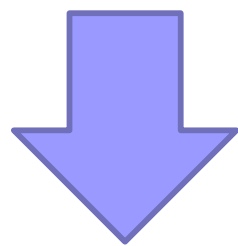
“実学” 教養(系統学的学び)のニーズ



令和2 年度 県立広島大学研究開発助成事業

主たる事業目的の一つとして

シニア世代を中心とする市民が，仕事や趣味，学習や地域活動などを通じて，社会とのつながりをもち，いつまでも健康に活躍できる仕組みを構築する。



**県立大学だからできる地域連携としての
“生涯学習”の提案**





県大教養スクールの歩み

完成形へ



会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民のみなさんがさまざまな活動を通じて、
いつまでも活躍できるまちをめざしています。
このたび、県立広島大学と三原市との連携により、昨年実施した
「学びのトビラ」の発展版として「学びのステップ」を開催します。



新たな学びで夢は無限



会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民の皆さんがさまざまな活動を通じて、
いつまでも活躍できるまちをめざしています。
今回、県立広島大学と三原市とで連携し、市民の皆さんの活動のきっかけとなる
最初の一步を応援する講座を開催します。

夢がひろがる“どこでもドア”





県大教養スクールの歩み

みはら市民大学
県立広島大学

受講料
無料

ヒヤク!

Liberal Arts School
Prefectural University of Hiroshima

県大教養スクール 「学びのヒヤク」

会場：みはら市民大学 教室5・6

三原市と県立広島大学は「生涯活躍のまちづくり」を目的とした、ユニークな市民向け講習会「学びのトビラ」「学びのステップ」をこれまでに開催してきました。お陰様でいずれも定員を超える受講者数となり大変好評を得ることができました。三原市民の、特にシニア世代の“学び”に対する意欲に応える形として、みはら市民大学と県大で連携した、継続性のある講習会を開催します。

生涯学習のための障害学習

大学
Hiroshima

2019

ステップ!

Liberal Arts School
Prefectural University of Hiroshima

県大教養スクール 「学びのステップ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民のみなさんがさまざまな活動を通じて、いつまでも活躍できるまちをめざしています。このたび、県立広島大学と三原市との連携により、昨年実施した「学びのトビラ」の発展版として「学びのステップ」を開催します。

大学
Hiroshima

2018

スタート!

受講料
無料

Liberal Arts School
Prefectural University of Hiroshima

県大教養スクール 「学びのトビラ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民の皆さんがさまざまな活動を通じて、いつまでも活躍できるまちをめざしています。今回、県立広島大学と三原市とで連携し、市民の皆さんの活動のきっかけとなる最初の一步を応援する講座を開催します。

新たな学びで夢は無限

夢がひろがる“どこでもドア”

教養とは…

「人が持つ必要がある技芸(実践的な知識・学問)の基本」



みはら市民大学
県立広島大学



受講料
無料

生涯学習のための障害学習

県大教養スクール 「学びのヒヤク」

会場：みはら市民大学 教室5・6

三原市と県立広島大学は「生涯活躍のまちづくり」を目的とした、ユニークな市民向け講習会「学びのヒヤク」「学びのステップ」をこれまでに開催してきました。お陰様でいずれも定員を超える受講者数となり大変好評を得ることができました。三原市民の、特にシニア世代の「学び」に対する意欲に応える形として、みはら市民大学と県大で連携した、継続性のある講習会を開催します。

講座1 11/21(土) 10:00-11:30 本講座の趣旨と生涯学習について	講座2 12/5(土) 10:00-11:30 めざせ！脳のスマートエイジング	講座3 12/26(土) 10:00-11:30 知りたい！脳を若返らせるちょっとした習慣	講座4 1/30(土) 10:00-11:30 チャレンジ！運動のすすめ
講座5 2/6(土) 10:00-11:30 大丈夫！認知症への支度	講座6 2/20(土) 10:00-11:30 怖くない！認知症と生きるということ	講座7 3/6(土) 10:00-11:30 やってみよう！作業と生きる幸福	定員 30名 (申込多数の場合は抽選とします) 申込締切 11/13(金) 詳しくは裏面をご確認ください

全7回の講座です。部分受講も可能ですが連続受講をおすすめします。



県大教養スクール 「学びのヒヤク」

会場：みはら市民大学 教室5・6

受講料
無料

11/21(土)
10:00-11:30

講座1 本講座の趣旨と生涯学習について
障害学は、健康・生活・教養といった広い領域の学問です。講座全体の概要説明とともに「生涯学習」と「障害学習」について学びます。

三原地域連携センター 教授
かないしゆう
金井秀作

12/5(土)
10:00-11:30

講座2 めざせ！脳のスマートエイジング
脳の老化は、早い人では40代から始まるといわれます。楽しく“脳トレ”して、自分の脳を見直しましょう。

保健福祉学部 理学療法学科 助教
たかみやなほみ
高宮尚美

12/26(土)
10:00-11:30

講座3 知りたい！脳を若返らせるちょっとした習慣
“脳の若返り”を図るちょっとした習慣を紹介し、ライフスタイルへの取り入れ方について議論します。

保健福祉学部 理学療法学科 助教
たかみやなほみ
高宮尚美

1/30(土)
10:00-11:30

講座4 チャレンジ！運動のすすめ
認知症予防には運動が効果的といわれています。体験しながら、運動の効果を実感しましょう。

保健福祉学部 理学療法学科 助教
たかみやなほみ
高宮尚美

2/6(土)
10:00-11:30

講座5 大丈夫！認知症への支度
認知症のある人への対応方法や社会資源などを学び、ディスカッションを通して、サポート力を培いましょう。

保健福祉学部 作業療法学科 助教
ひらもとあさ
坂本千晶

2/20(土)
10:00-11:30

講座6 怖くない！認知症と生きるということ
認知症は誰もがなりうるものです。上手に付き合うコツについて習得し、備えましょう。

保健福祉学部 作業療法学科 助教
ひらもとあさ
坂本千晶

3/6(土)
10:00-11:30

講座7 やってみよう！作業と生きる幸福
より健康的で幸せな生活を送るためにできる工夫について、自分の生活を振り返り、一緒に考えてみましょう。

保健福祉学部 作業療法学科 助教
ひらもとあさ
坂本千晶

※すべて演習形式とし、大学生(5~6名程度)も学びに加わる予定です。

対象 みはら市民大学学生(大学院含む)および三原市民		定員 30名(申込多数の場合は抽選とします)					
申込方法 往復はがきにて		申込締切 11月13日(金) 必着					
問い合わせ先 みはら市民大学事務局 Tel 0848-64-6868 ※火曜から金曜(祝日・お盆・年末年始は除く)の8時30分から16時まで 県立広島大学三原地域連携センター Tel 0848-60-1200		<table border="1"> <tr> <td> 申込はがきの書き方 楷書で丁寧に書いてください </td> <td> 住所 723-0014 三原市みはら市民大学 県大教養スクール 係 </td> <td> 返信住所 何も書かない </td> <td> 住所 あなたの 氏名住所 様 </td> </tr> </table>		申込はがきの書き方 楷書で丁寧に書いてください	住所 723-0014 三原市みはら市民大学 県大教養スクール 係	返信住所 何も書かない	住所 あなたの 氏名住所 様
申込はがきの書き方 楷書で丁寧に書いてください	住所 723-0014 三原市みはら市民大学 県大教養スクール 係	返信住所 何も書かない	住所 あなたの 氏名住所 様				



県大教養スクールの歩み



みはら市民大学
県立広島大学



受講料
無料

生涯学習の



新たな



「学びの〇〇」への期待

夢がひろがる「どこでもドア」

三原市と県立広島大学は“生涯活躍のまちづくり”を目的とした、ユニークな市民向け講習会「学びのトビラ」「学びのステップ」をこれまでに開催してきました。お陰様でいずれも定員を超える受講者数となり大変好評を得ることができました。三原市民の、特にシニア世代の“学び”に対する意欲に応える形として、みはら市民大学と県大で連携した、継続性のある講習会を開催します。

学習

「学びのステップ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民のみなさんがさまざまな活動を通じて、いつまでも活躍できるまちをめざしています。このたび、県立広島大学と三原市との連携により、昨年実施した「学びのトビラ」の発展版として「学びのステップ」を開催します。

は無限

Liberal Arts School
Prefectural University of Hiroshima

県大教養スクール 「学びのトビラ」

会場：県立広島大学三原キャンパス

三原市では、市民の皆さんがさまざまな活動を通じて、いつまでも活躍できるまちをめざしています。今回、県立広島大学と三原市とで連携し、市民の皆さんの活動のきっかけとなる最初の一步を応援する講座を開催します。



第四の教育改革:ゆとり教育「ゆとりある学校生活」 1976年(昭和51年)～

1980年度(昭和55年)のゆとり教育:自ら考え正しく判断できる力をもつ児童生徒の育成

＜1981年「生涯学習」という言葉がはじめて使用される＞

1992年度(平成元年)のゆとり教育:社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成

2002年度(平成14年)のゆとり教育:自ら学び自ら考える力などの生きる力を育む

- ・年間授業時数の縮減(年間70単位時間)
- ・完全学校週5日



学び(教育)の変遷

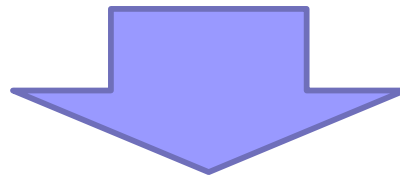
第五の教育改革:

2020年教育改革

新学習指導領が、

次の3つの資質・能力の身につけることを目的にしています。

- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」
- 生きて働く「知識・技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」



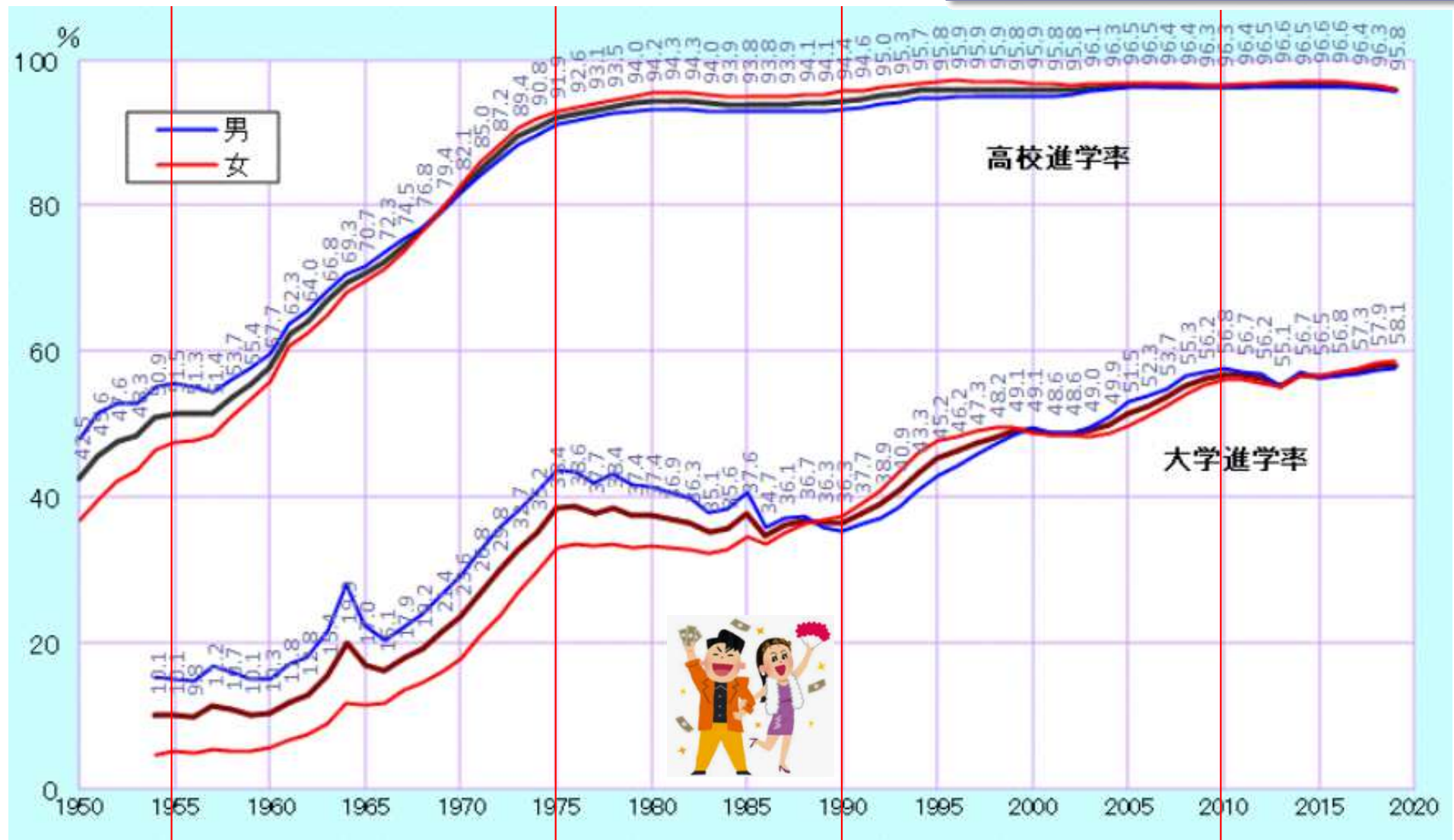
【最重要課題】

アクティブ・ラーニング:

受け身ではなく自身が自ら考え行動する



学び(教育)の変遷



集団就職

高度経済成長

ハイテクブーム

失われた20年

大学全入時代

県立広島大学, 尾道市立大学, 広島大学, , , 大学とは？

学術の中心として、**広く知識を授ける**とともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的

・1887年
法学博士
医学博士
工学博士
文学博士
理学博士

・現在

博士 (法学)	博士 (アメリカ研究)
博士 (医学)	博士 (都市・地域計画)
博士 (工学)	博士 (生命システム科学)
博士 (文学)	博士 (システム生命科学)
博士 (理学)	博士 (スポーツ科学)
博士 (農学)	博士 (獣医学)
博士 (化学)	博士 (看護学)
博士 (史学)	博士 (保健学)
博士 (神学)	博士 (障害科学)

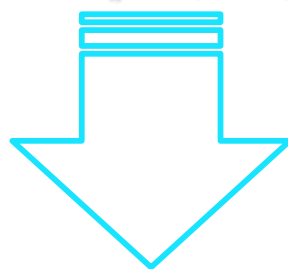
... 100種を超える



◎ “長寿社会” に対応した生涯学習の必要性

〈中央教育審議会〉

『人々が自発的意思に基づいて
「自己の充実」「生活の向上」「職業能力の向上」
のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を
送ることを目指して生涯にわたって行う学習』



◎読み取れるキーワード

自発的学習，自己決定，継続（意欲）



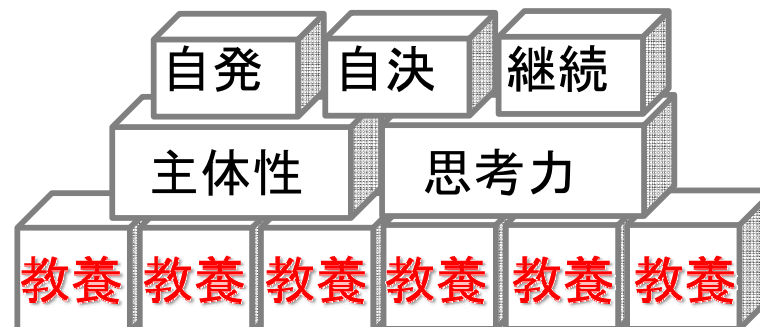
自発学習，自己決定，継続（意欲）

これらを上げるためには...

主体性と思考力



その基礎となるのが...



学びのステップアップ

生涯学習

みはら市民大学(旧老人大学)	
座学系	運動系
編物, 生花, 陶芸, レザークラフト, パッチワーク, 囲碁, 脳力トレーニング, 料理, 英会話, 俳句, 写真, 水彩画, 日本画, 筆ペン, 書道, 絵手紙, 民謡, 大正琴, パソコン, スマホ...	健康体操, 太極拳, ヨガ, スポーツ吹き矢, コーラス, カラオケ...

みはら市民大学の既存の趣旨に
“生涯学習”の意義を加える, すなわち
老人のための学び舎からのステップアップ
“実学” 教養の学びへ

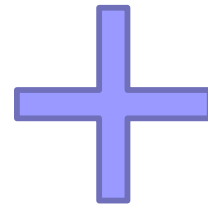


市民大学✕県立大学 = “生涯学習” 特別講座

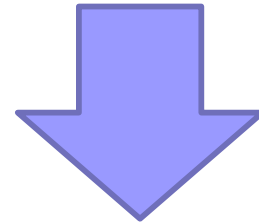


県立広島大学三原Cの強み

●教育手法の変化
「教えない教育」
↓
「教える教育」
↓
「教えない教育」



●教育環境の変化
「義務教育」
↓
「高等学校」
↓
「大学全入」



県立広島大学三原Cの強み

◎「医療の複雑化」「課題の複合化」
に対応する教員専門性の多様化

・例：取得学位（博士）

『医学』『リハビリテーション科学』『保健学』『看護学』
『工学』『生命システム科学』『学術』『社会福祉学』…

○保健・医療・福祉の専門職を育成する場でもある



◎授業が丁寧・上手



県立広島大学三原Cの強み

○「健康づくり＝障害予防」についての
研究・教育・地域貢献の実績が豊富

求められる「健康づくりの生涯学習」とは…

“身体的障害”の学習

“精神的障害”の学習

“社会的障害”の学習

認知症予防・健康増進etc

生きがい・余暇活動etc

経済・社会参加etc

地域連携としての“学び”の提供

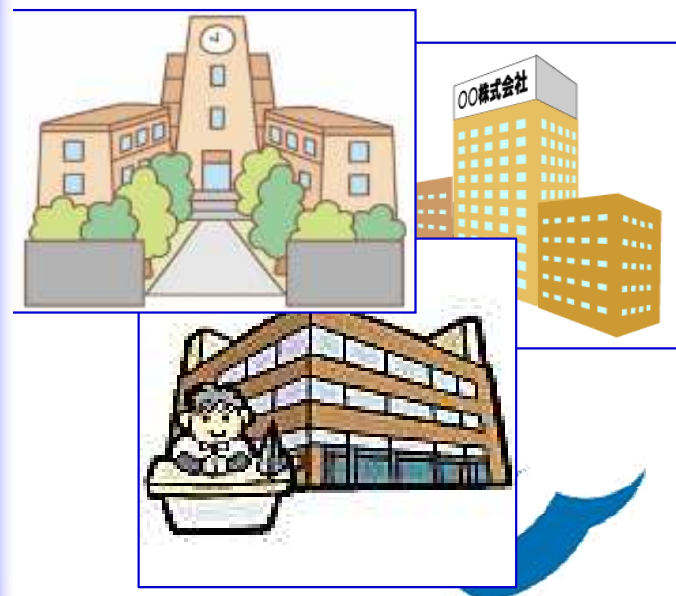
産官学連携視点での生涯学習

市民大学 × 三原市 × 県立大学 = 特別講座



『生涯学習のための障害学習』

- 「三原市」
市民への新たな生涯学習の提供
- 「市民大学校」
既存講座とは異なる学びの提供
- 「県立広島大学」
地域貢献・学生の学びの提供



<講義風景>



学生による受付対応



講義風景



ディスカッション



感染対策（入退室）



講義風景



演習



共同作業での
フェイスガード



演習



実習

みはら市民大学
県立広島大学

ヒヤク!

受講料
無料

生涯学習のための障害学習

県大教養スクール
「学びのヒヤク」

会場：みはら市民大学 教室5・6

三原市と県立広島大学は「生涯学習のまちづくり」を目的とし、
ユニークな市民向け講習会「学びのヒヤク」のステップをこれまでに開催してきました。
お隣様でいずれも定員を超える受講希望となり大変好評を得ることができました。
三原市民の、特にシニア世代の「学び」に対する意欲に応える形として、みはら市民大学と県大で連携した、
継続性のある講習会を開催します。

講座1 11/21(土) 10:00-11:30 本講座の趣旨と 生涯学習について	講座2 12/5(土) 10:00-11:30 めざせ! 脳のスマートエイジング	講座3 12/26(土) 10:00-11:30 知りたい! 脳を活性化させる ちょっとした学習法	講座4 1/30(土) 10:00-11:30 チャレンジ! 運動のすすめ
講座5 2/6(土) 10:00-11:30 大丈夫! 認知症への対応	講座6 2/20(土) 10:00-11:30 怖くない! 認知症と生きるということ	講座7 3/6(土) 10:00-11:30 やってみよう! 作業と生きる準備	定員 30名 (申込多数の場合は抽選となります) 申込締切 11/13(金) 詳しくは裏面を ご確認ください

全7回の講座です。部分受講も可能ですが連続受講をおすすめします。



「学びのヒヤク」
講義内容の一部紹介

ご存知でしょうか...

高校生までと
大学生の違い？



「学びのヒヤク」 講義内容の一部紹介

生涯学習

Robert James Havighurst(1900-1991)

成長段階	発達課題
乳幼児期	・歩行、食事、話すことの、排泄の学習 ・性の相違及び性の慎みの学習 ・社会や事物についての単純な概念形成 ・両親、兄弟との人間関係についての学習 ・正・不正を区別することの学習と良心を発達させること
児童期	・遊びを通じての身体的技能の学習 ・成長する生活体としての自己に対する健全な態度の養成 ・同年齢の友達と仲良くすることの学習 ・男子または女子としての正しい役割の学習 ・読み、書き、計算の基礎的スキルを発達させること ・日常生活に必要な概念を発達させること ・良心、道徳性、価値の尺度を発達させること ・自立的な人間形成、社会的集団に対する態度を発達させること
青年期	・同年齢の男女両性との洗練された新しい関係 ・自己の身体構造を理解し、男性または女性としての役割を理解すること ・両親や他の大人からの情緒的独立、経済的独立に関する自信の確立 ・職業の選択及び準備 ・結婚と家庭生活の準備 ・市民として必要なスキルと概念の発達 ・社会人としての自覚と責任ある行動をとること ・行動の指針としての価値や論理の体系の学習、自己の世界観を持ち他人と調和しつつ自分の価値体系を守る

「学びのヒヤク」 講義内容の一部紹介

生涯学習

壮年期	・配偶者の選択、結婚相手との生活の学習 ・家庭生活の出発(第一子をもうけること) ・子どもの養育、家庭の管理 ・就職(壮年初期) ・市民的責任の負担、適切な社会集団の選択
中年期	・大人としての市民的社会的責任の達成 ・一定の経済的生活水準の確立と維持 ・十代の子どもたちが、信頼できる幸福な大人になれるよう援助すること ・大人の余暇活動を充実すること ・自分と自分の配偶者をひとりの人間として結びつけること ・中年期の生理的変化を理解し、これに適応すること ・老年の両親への適応
老年期	・肉体的な強さと健康の衰退に適応すること ・引退と減少した収入に適応すること ・配偶者の死に適応すること、死への準備 ・自分と同年輩の老人たちと明るい親密な関係を確立すること ・肉体的生活を満足におくれるよう準備態勢を確立すること

「学びのヒヤク」 講義内容の一部紹介

人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために、
自発的意思に基づいて行うことを基本とし、
必要に応じて自己に適した手段・方法を
自ら選んで、

生涯を通じて行う学習



「学びのヒヤク」 講義内容の一部紹介

市民大学×県立大学

科学的思考

批判的思考(critical thinking)

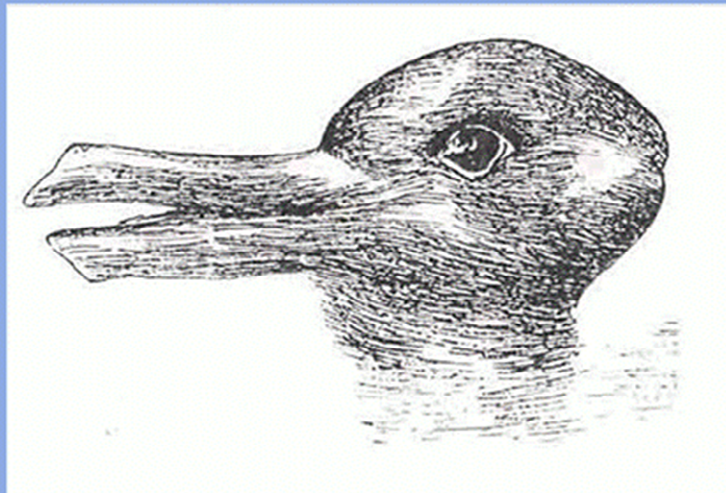


「学びのヒヤク」
講義内容の一部紹介

パラダイムシフト

～昨日の常識は今日の非常識～

Paradigm shift



人間はどこまでパラダイム・シフトし得るか



むかしの常識は いまの非常識...

■覚せい剤は薬になる(1940年代まで)



▲体に良いわけありません！

■高血圧は体に良い(1940年代まで)

？体の隅々にまで血流を送ることができる

▲脳出血・脳血栓を引き起こす！



ちょっと前の常識は いまでも常識...?

- × 傷は乾かすと早く治る？
- × 脳卒中マヒには手足をマッサージ？
- ▲ ケガの予防にストレッチを入念に？
- ▲ BMI * (Body Mass Index:
別称ケトリー指数) は病氣予測？

* BMI = 体重kg ÷ 身長m ÷ 身長m 

「学びのヒヤク」
講義内容の一部紹介

**昨日の常識は
今日変わっているかも
知れません...**



「まなびのヒヤク」実施後調査

＜授業感想＞

講義の終了時に宿題の位置づけで感想文課題を実施

⇒毎回提出率は高く，受講態度でも十分感じられたことであるがモチベーションの高さを示していた。

⇒内容について難易度等に関する感想だけではなく，改めて自身で学びを深めた結果を報告されているものもあり，アクティブラーニングとしての成果も垣間見れた。

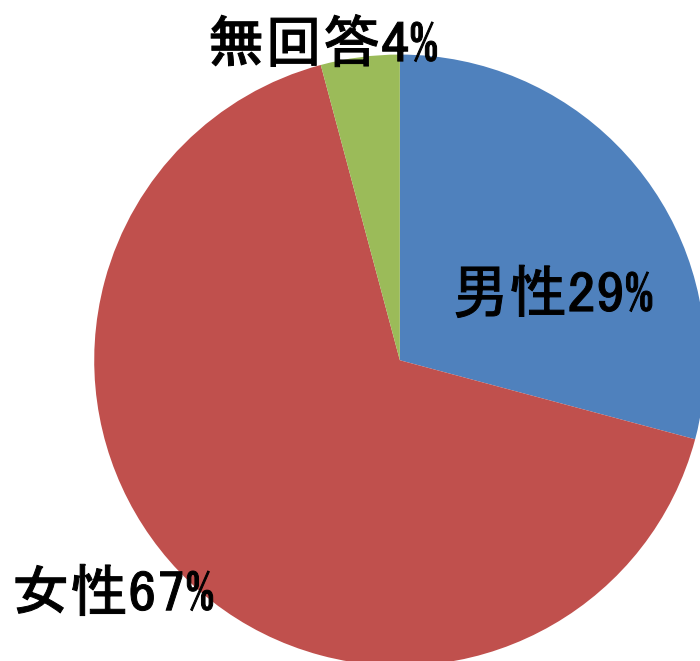


「まなびのヒヤク」実施後調査

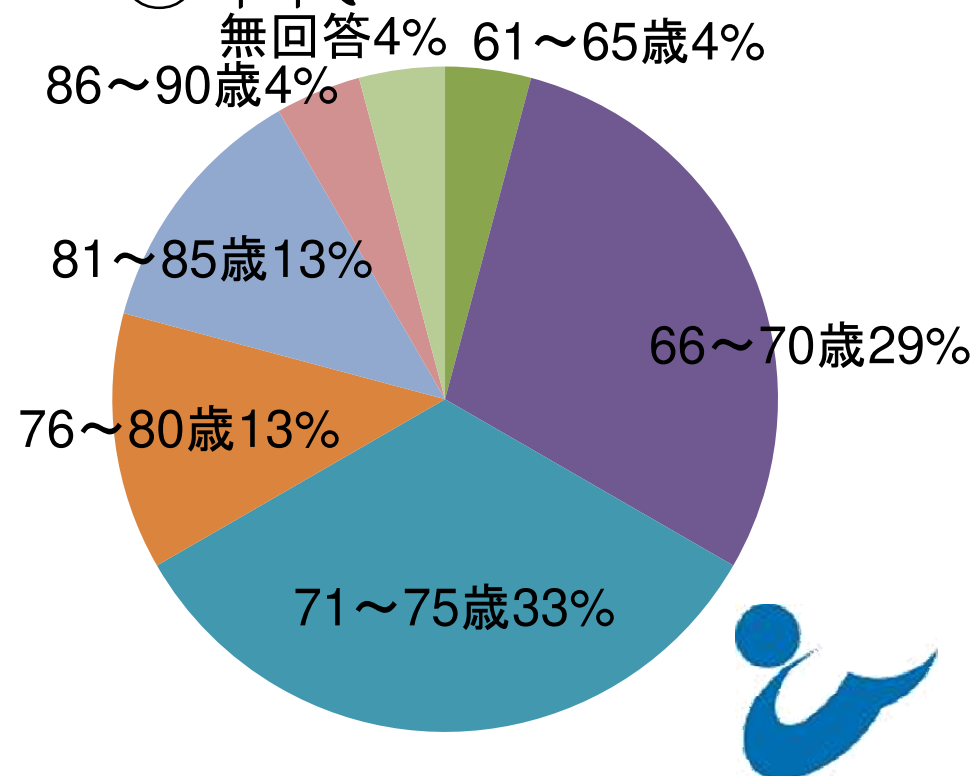
<アンケート>

本講座の終了時に受講者情報，および“学びの成果”に関するアンケートを実施

①性別



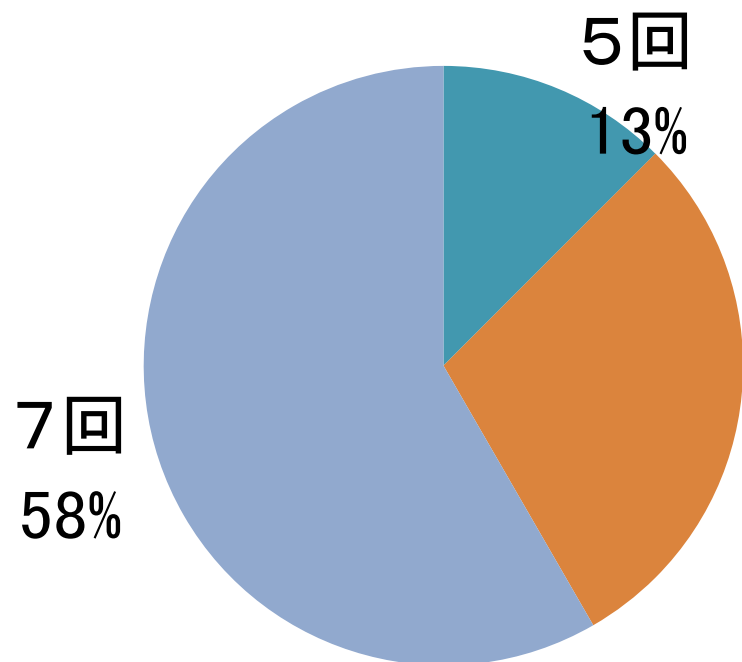
②年代



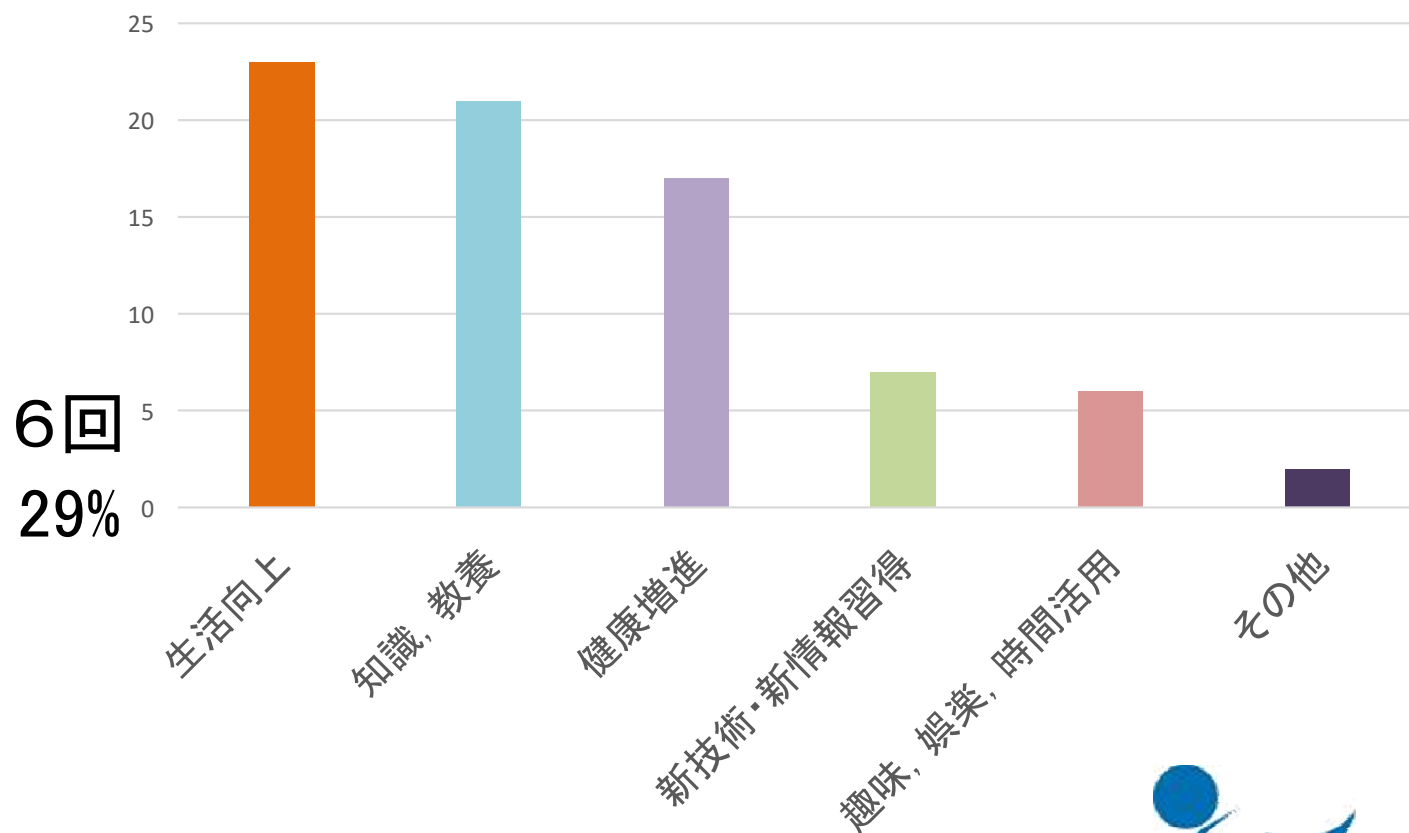
「まなびのヒヤク」実施後調査

<アンケート>

③出席回数



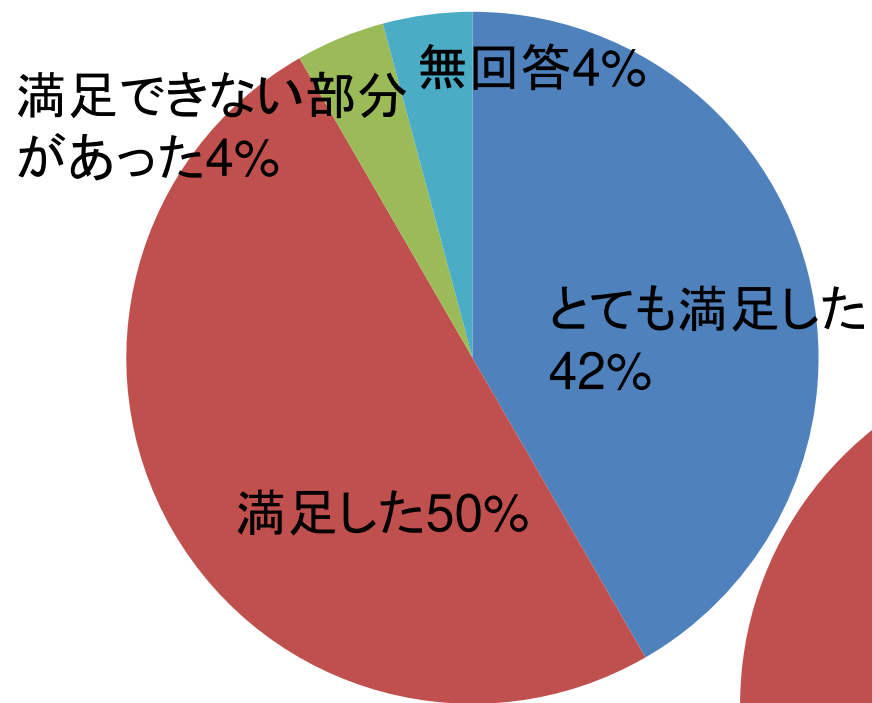
④受講目的（複数回答）



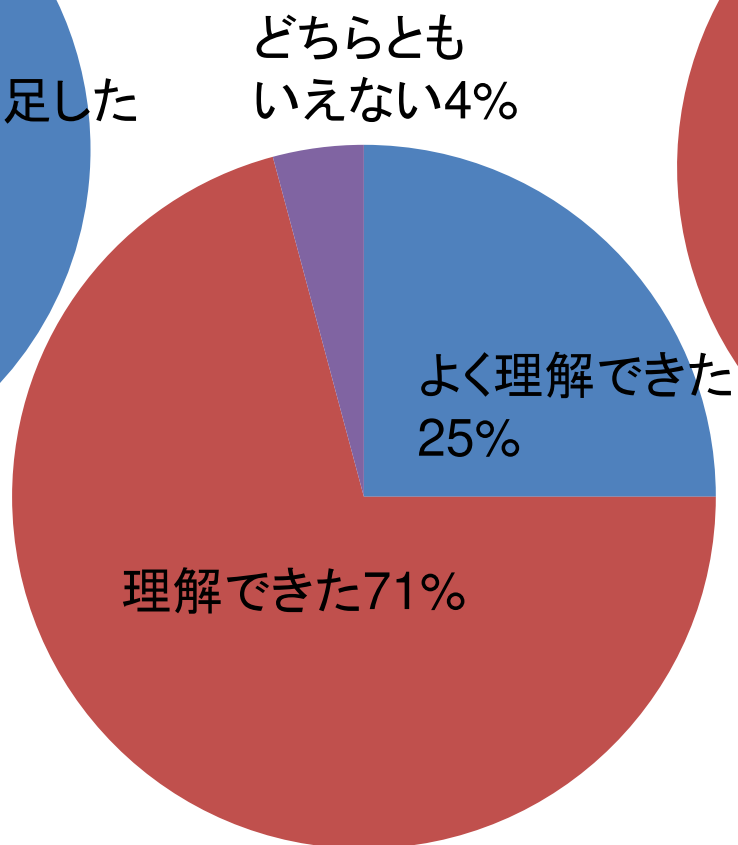
「まなびのヒヤク」実施後調査

<アンケート>

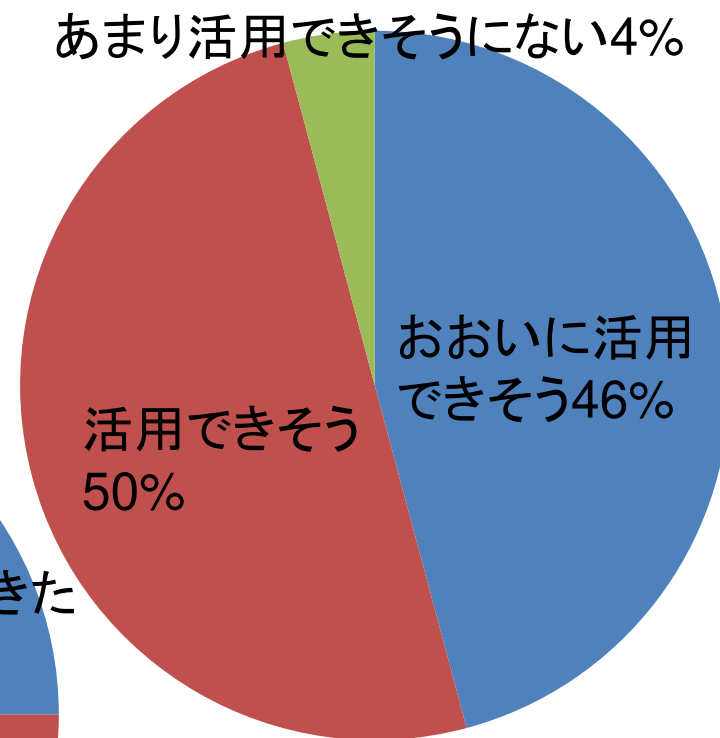
⑤ 満足度



⑥ 理解度



⑦ 活用度

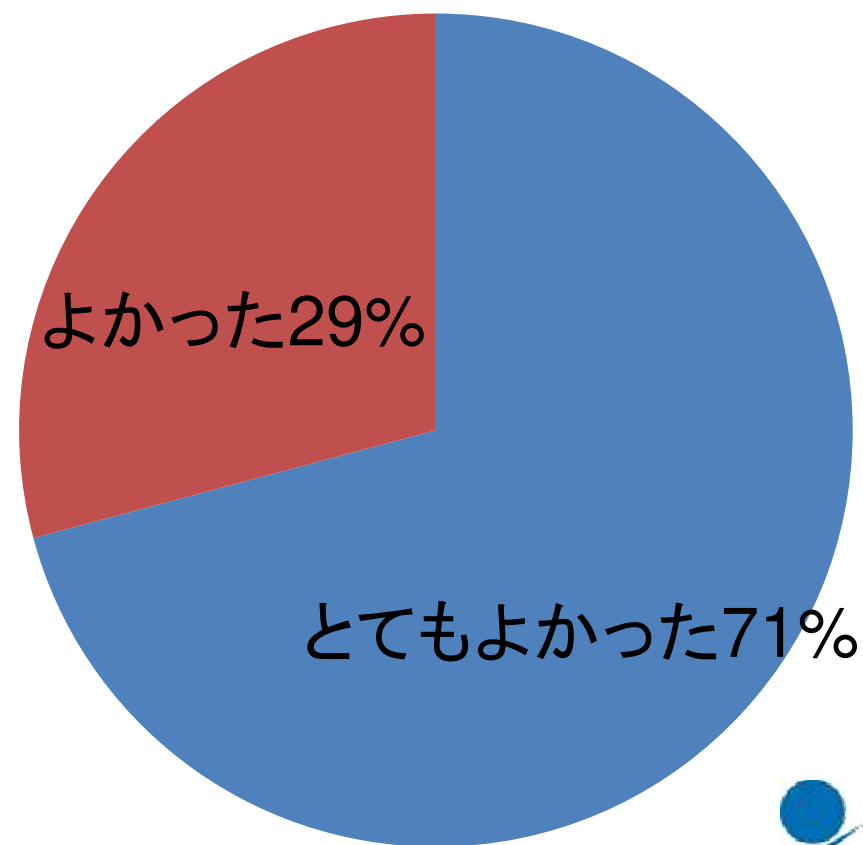
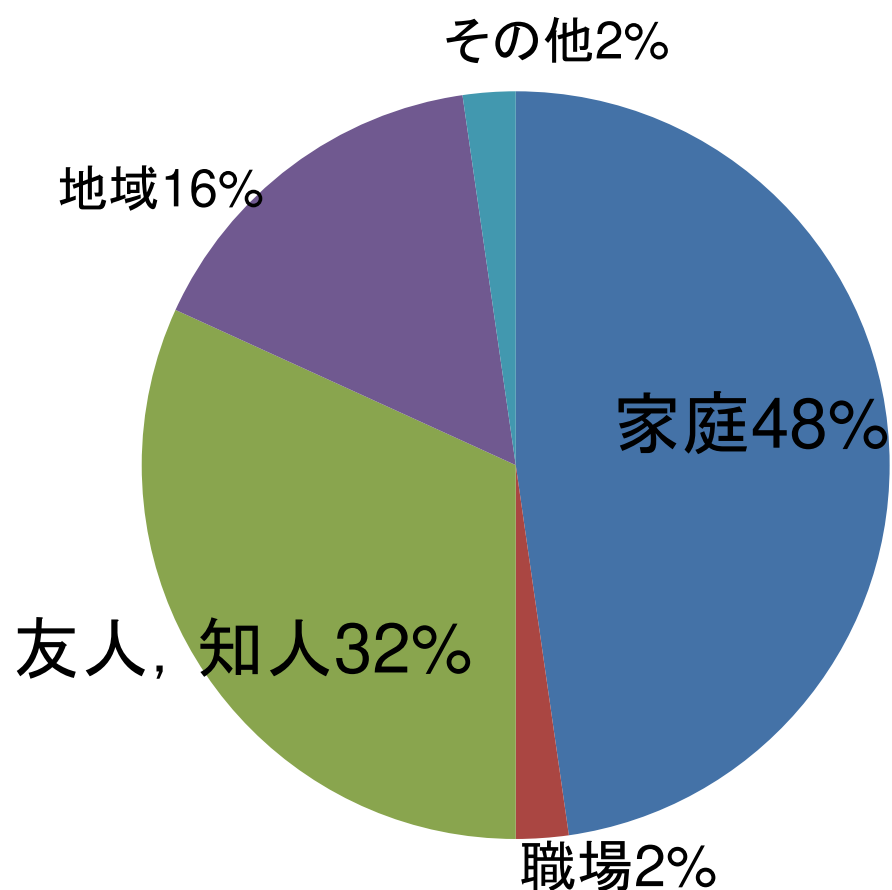


「まなびのヒヤク」実施後調査

<アンケート>

⑧活用場所（複数回答）

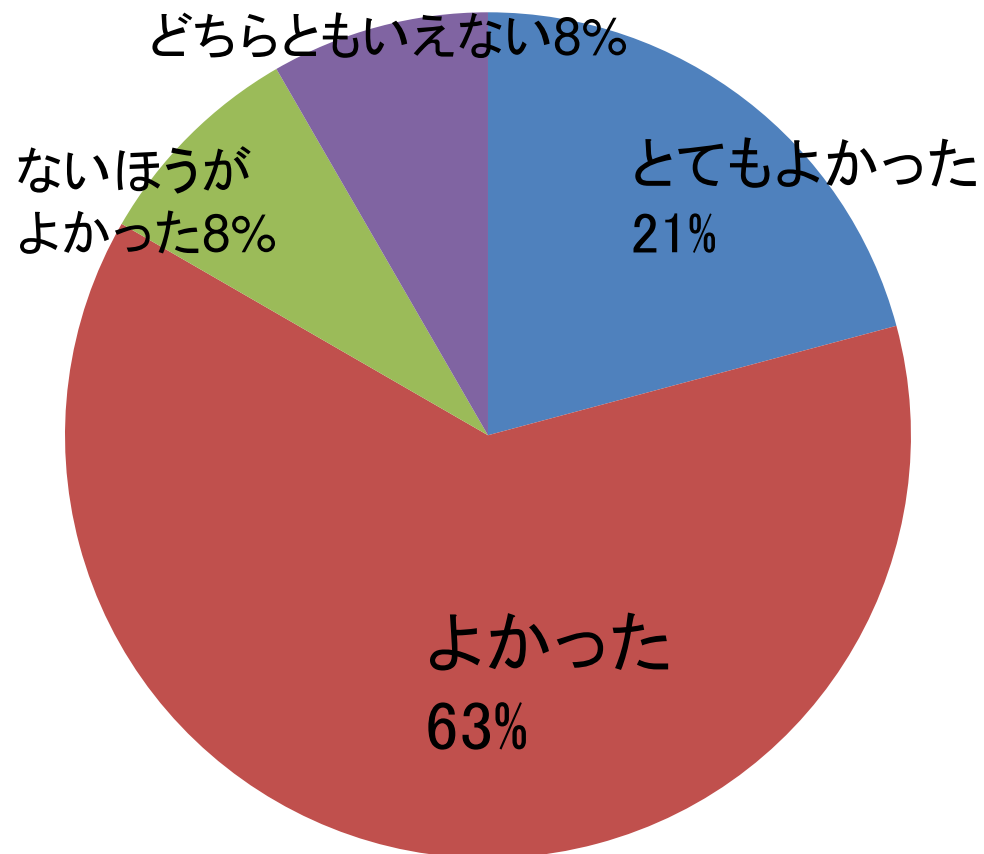
⑨学生の参加



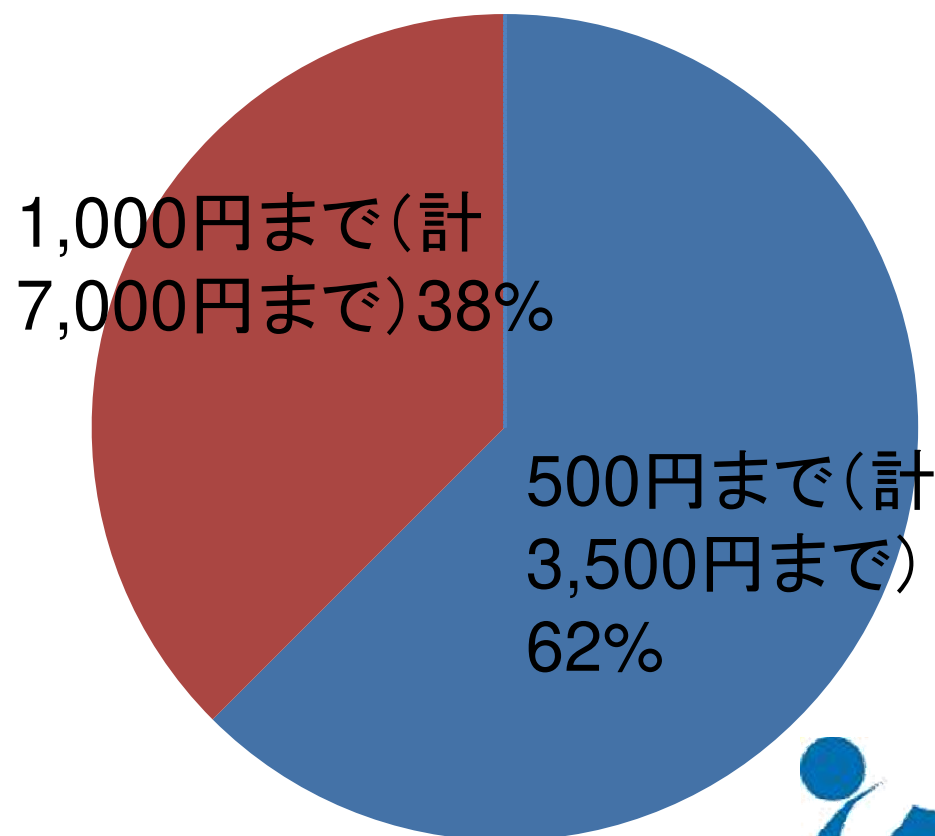
「まなびのヒヤク」実施後調査

<アンケート>

⑩感想文の提出（課題）



⑪負担してもよいと感じる受講料（1講座あたり）



これまでの成果の活用・実用化としての提言

◎市民大学主催＋県大三原地連C共催＋三原市後援での特別講座として継続実施することを提案する。

- ・有料化による継続（¥800／回，全7回）
- ・募集54名（9名×6グループ）＋学生6名

◎県大教養スクールは市民大学の設置目的である「学生相互の協調を重視して，自らの生きがいを求めて学習し，社会に貢献しながら，より豊かな生活を築くために開設する。」に共鳴できる講座である。しかしながら市民大学内規にある受講対象年齢「満55歳以上」に縛られるべきではない。この年齢制限については今後の改変を提案する。